



# 音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之  
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email [nichion@yomogi.or.jp](mailto:nichion@yomogi.or.jp)



「以前は大使館前で座り込みもした。寝袋を持ち込んでの連日行動もやってきた。なぜこんなに離れてやらなければならぬのか」と憤った。せめて声は届けようと、三脚に掛けたスピーカーは大使館に向け、ビルや木立の間をねらった。わたしも含め、参加者が設置を手伝った。

発言も熱かった。怒りで声を詰まらせる発言者もいた。核施設への攻撃は被曝をもたらす。遺伝子にまで永く留まる放射能への不安、被曝を知る唯一の国のくせに、意見もできない日本政府への怒り。「核兵器を持たない国に対する攻撃が黙認されるのなら、日本だって、原発からの武器転用技術が『あ

る』と恐れられたら攻撃されても文句は言えない。遠い国の話ではない。自分たちのこと」という発言もあった。緊急の呼びかけではあったが、参加者は約200名だったそうだ。

若者や外国人の参加者も多かった。今後も暴挙に対しあきらめずに抗議を続けることを確認して、1時間半の行動を終えた。  
(森理子)

## 核施設への攻撃を許すな

### 停戦合意？ますます広がる戦争拡大の脅威！

米国軍がイラン国内の核施設を空爆したことに對し、6月25日、米国外務省前抗議行動が呼びかけられた。しかし、大使館前での抗議は叶わず、その手前に建つ住友不動産虎ノ門タワーの前、柵で囲われたスペースに押し込められ、多くの警察官に囲まれるなかでの行動となった。

主催者挨拶に立った高田健さんは、

総がかり行動実行委より、緊急行動が呼びかけられました。

(日音協は6月24日、ホームページに掲載しました。)

**『STOP トランプ・ネタニヤフ！米国はイラン攻撃をすぐやめろ！パレスチナ・ガザへのジェノサイド反対！6・25 米国大使館抗議行動』( #パレスチナに平和を緊急行動 )**

トランプ米大統領は21日夜(日本時間22日午前)、アメリカ軍がイラン国内3カ所の核施設を空爆したと発表した。米軍の発表では爆撃は6発の地中貫通弾(バンカーバスター)をはじめ、トマホーク巡航ミサイル30発が使用された。

これは国連憲章と国際法に明確に違反するものであり、イスラエル・ネタニヤフ政権によるパレスチナへのジェノサイドを支援し、殺戮行為をさらに中東全体に拡大するものだ。とりわけ、核施設への攻撃は、ジュネーブ条約をはじめとする国際法に違反し、中東地域一帯に深刻な人道的被害をもたらすものであり、絶対に許されない。米国は直ちにネタニヤフ政権のガザ・パレスチナのジェノサイド支援と、イラン攻撃を中止しなければならない。日本政府は米国のイラン爆撃はもとより、イスラエルによるジェノサイドに毅然として反対し、あわせて戦火の下で苦しむパレスチナ民衆への人道的支援に取り組むべきだ。

いまこそ全世界の市民とともに、平和を求めるすべての日本の市民が駐日米国大使館に向けて共に声をあげよう。

日時：6月25日(水) 18:00～

場所：住友不動産虎ノ門タワー(旧JTビル)前

所在地：東京都港区虎ノ門2丁目2-1

(最寄り駅 地下鉄 虎ノ門駅)

主催：パレスチナに平和を！緊急行動(総がかり行動、市民アクションも、この行動に参加しています)

《この行動は非暴力の行動です。なるべく、それぞれの思いを表現したプラカードなど、お持ちください。》



# 第56回はたらくものの音楽祭

2025年10月18日(土)～19日(日) 長野県千曲市・戸倉創造館

# 長野音楽祭の成功に全力を上げよう 第57回音楽祭は福島県内で開催



金田事務局長



松本会長



坂口副会長



代表者の皆さん

日音協は6月28日(土)・29日(日)東京都豊島区内・オンライン併用で2025年度全国代表者会議を開催しました。全国幹事・監査の出席も含めれば全支部から22人が出席しました。

坂口副会長の司会で開会。松本会長があいさつ、「日音協セミナー、ミーデー、憲法集会、沖縄行動などみなさんの活動に感謝。第56回はたらくものの音楽祭の準備がすすみ、長野県実行委員会は連合長野を中心にすでに2回の会合を重ねている。準備状況をご説明するので議論願いたい。第57回はたらくものの音楽祭は来年福島県内で開催することとして準備をすすめたい。日音協ソング2025など当面の取り組みについてもご議論を」と述べました。

金田事務局長が経過を報告、続いて全支部から活動報告がありました。その内容は3面に掲載しますが、多くの支部が活発に活動してきたことを自信たっぷり報告されたことが、強く印象に残りました。

議事の1は第56回はたらくものの音楽祭について。金田事務局長が企画書の内容などを説明。全国交流会と宿泊に関して、①健康上の理由で相部屋ができない人への配慮を、②宿泊・参

加費を10月3日締め切りに間に合わせるの難しい、③全国交流会で各支部参加者の紹介を、という発言があり、①配慮する用意があるので具体的に相談を、②現地で大金のやりとりは避けたいので事前の振り込みにご協力を、と佐藤副会長が、③検討すると塚本幹事が応えました。戸倉創造館について、④フリースペースとはどんなものか、と発言があり、④2本のコンデンサーマイク以外は機材の手当ではできないが、使用を希望する方は具体的に相談してほしい、と坂口副会長が応えました。

第57回はたらくものの音楽祭については、金田事務局長が福島県内での開催を提案。福島県支部の参加者は、県支部は労組との関係が希薄で不安があるが、本部の力も借りて準備したい。来年10月開催としたい、場所はこれから、と発言。提案通り準備をすすめることにしました。

当面の取り組みについては、とくに日音協ソング2025について、⑤推薦曲の作者の励みになるように賞金または記念品を、⑥応募曲集の印刷をやめてインターネット配信にしてはどうか(賞金が捻出できる)、という発言があり、⑤賞金は必要ないというのが幹事や幹事の近くにいる会員の感覚、⑥応募曲集の配布は2025年は継続、インターネット配信は併用、と松本会長が応えました。また、坂口副会長が⑦音楽祭で演奏された新曲で応募されないものがあり問題意識を持っている、と発言しました。

各ブロック合宿の日程なども確認しました。

日音協第62回定期総会の開催については、12月6日(土)13時から開催することにし、せんこう委員(長)に役員せんこうをお願いすることにしました。

最後に、第56回はたらくものの音楽祭の成功を誓い合って、会議を閉会しました。(松本敏之)

## 長野音楽祭宿泊について

まだ未定だった点のお知らせです。

### ◎キャンセル料について

3日前 30%  
前日は 50%  
当日は 100% と、なります。

### ◎子ども料金について

小学生：大人料金の 70%  
幼児： 〃 50%  
※中学生以降は大人料金となります。

(担当：佐藤)

## 長野音楽祭テーマ決定

忘れ得ぬ80年

日音協60年

つなぐ歌声

出発進行!!

# 個性的な各支部からの報告

【FMカンパニー】(磯野)

8月9日『戦後80年ピースフルコンサート』沖縄から 知念良吉さんがスペシャルゲスト。

【自治労】(山本)

コロナ以後、リモート会議で意思疎通ができるようになった。東北地連青年婦人の夏期交(山形で開催)で、グッパイオーバーワークの4番を作詞することになった。Aiでつくる班・自力でつくる班などで創った。(作品は、4面で紹介しています。)

【東京】(狭石)

支部会費を値上げした。活動するためには必要。ミーディーのテント前演奏で、インターを4部合唱。若い人が歌集を購入してくれた。

【千葉】(鈴木・初参加)

代理で参加。いろいろつながりが出てきている。みんなが楽しみにしているのでヨロシクと、日音協のうたを推してくれた。外に出ていくとドラマが生まれる。

【九州】(山田)

佐賀の女性集会(マイナバー、コロナ、の三小田作品が好評)。9月に合宿を開催します。

【沖縄】(石川・初参加)

規模は小さくとも継続が大事。笑顔のクリスマスコンサート、南部地区の労組の集まり(パークゴルフにて演奏)、東日本大震災支援ミニコンサート、平和の礎(清掃活動)、沖縄平和行進(5月)、総会(12月)。

【岩手】(高橋)

全国青年団結集会では、県職労バンドで出演。久慈地区では、「うたこえ喫茶」が取り組まれている。

【茨城】(江崎)

元市議の呼びかけで、老人から子ども対象に集会を開催。皆さんに楽しんでいただけたと思う。古希3人(市川、狭石、江崎)がリードをとってのブロック合唱。

(急に歌いだすこと数回)の報告もあった。

【香川】(高田)

練習会を開催。丸亀市議会議員選挙では常包・細川のコンビで大川支援。高田も他候補をライブハウスで歌で支援。7名当選で、第一会派となった。

【秋田】(村岡)

音楽夜話会を開催した。



東京の森さん ごめんなさい

## 原水禁広島大会 「原爆を許すまじ」を歌おう

松本 敏之

今年是被爆80年の年、トランプ米大統領がイランへの攻撃を広島、長崎になぞらえるという暴言を発したことに抗議の声をあげたい気持ちもあり、私は8月の原水禁世界大会(広島)に参加しようと準備しています。

このことを、広島県音楽サークル協議会の仲間たちにお話したら、8月4日の開会集会の最後に『原爆を許すまじ』の全体合唱で、広島県音楽サークル協議会のメンバーが壇上でうたう(十アコーディオン)ので、県外の日音協の参加者もぜひ一緒に、という話になりました。

全国代表者会議でも話題にしたものの、もう準備期間もないことから日音協の取り組みにはなりません、私松本が一有志として呼びかけますので、原水爆禁止世界大会・広島大会に参加しませんか。もちろん、福島大会、長崎大会への参加もあわせて呼びかけますが、私松本が参加する予定でないということはお許しください。また、費用は各自持ち、一緒に食事するとしてもワリカンということをご理解ください。

福島大会は事前の参加登録は必要ありませんが、広島大会と長崎大会は7月25日までに参加登録が必要です。松本あて(090-5796-4261)、参加のご連絡をお願いいたします。

### 被爆80周年原水爆禁止世界大会

- ・7月26日(土) 福島大会 13時からパルセいいざか  
同日 16時30分まで
- ・8月 4日(月) 広島大会 15時30分から  
平和記念公園ほか  
8月6日(水) 11時まで
- ・8月 7日(木) 長崎大会 15時から  
ブリックホールほか  
8月9日(土) 12時まで

※なお広島大会の開会総会は17:00~18:30 県立総合体育館で開催。その最後に『原爆を許すまじ』全体合唱です。後でご案内する時間に、総合体育館内の広島県音楽サークル協議会控え室にお集まりください。

# 平和のための戦争展「ピースフェア2025 in 千葉」で演奏

第 1 2 回千葉市平和のための戦争展「ピースフェア 2025 in 千葉」が 6 月 18 日から 22 日まで千葉市 Qiball (きぼーる) で開催され、戦死者からのメッセージの展示や戦争体験談・子どもたちの作品・日中韓平和絵本・市民の活動などのパネル展示、朗読・歌・演奏・ダンス・腹話術・紙芝居などのステージなどで構成されていて、私たち日音協千葉県支部は合唱団ミールとして瓦井さんと小笠原さん、鈴木さんと根本、そして東京から長島さんにも来ていただいて 21 日にうたで参加しました。

前回の反省をふまえ数力月前の練習から選曲とうたい方を話し合いながら決め、瓦井さんからの振り返りの連絡をもらい再確認しながら当日に臨みました。鈴木さんの曲紹介で「花の街」「涙そうそう」「一本の鉛筆」「世界とともに」「私は忘れない」「答えは我らに」「あたりまえの地球」「Let's sing a song」の 8 曲で私たちの想いを表現しました。演奏後、長島さんが熱心に聞いてくれていた若い方に声をかけ「初めて聞いたうたばかりですが良かったです」と言っていただき、楽譜を差し上げ交流をしたとの報告がありました。

総括は次回の練習になるとと思いますが立ち位置やマイクの使い方の打ち合わせ、本番を意識した練習や時間配分などまだまだ改善できることがあると思います。今後も発表に向けて準備・練習する過程を大切に、ひとつひとつのステージをつくりあげていくことを続けていきます。

(根本賢治)



## ①

システム導入 紙は減らない  
デジタル化って 誰の夢？  
会議のための 資料を刷って  
時間に追われて 日が暮れる  
グッバイ グッバイ オーバーワーク  
住民の声に 耳を澄まし  
グッバイ グッバイ オーバーワーク  
ゆっくり向き合う 明日が欲しい

## ②

昨日のナミダは明日のチカラ  
踏み出すたびに道はひらく  
誰かが言った 「無理するなよ」  
その一言が 灯をともし  
グッバイ グッバイ オーバーワーク  
つながることで強くなる  
グッバイ グッバイ オーバーワーク  
今こそ希望を選びたい

## ③

若者だから 得意と言われ  
全部丸投げ デジタル化  
紙は減るけど 業務は増えて  
眼精疲労に 悩む日々  
グッバイ グッバイ オーバーワーク  
何から何まで任される  
グッバイ グッバイ オーバーワーク  
今すぐパソコン 壊したい

「Goodbye overwork」の続編を作ろう

● Goodbye overwork の主人公は超勤続きの毎日。体はへとへと、家族とのふれあいもできず、その苦しさを一人で抱えていた。ゆっくりからだを休めたいと思っているが、なかなかできない。

● そんな中、ある日組合役員が「私たちは労働力を売っていても、健康や家庭生活までは売ってない。8時間働けば、あとは自分の自由に過ごせる権利があるはずだ。なのに私たちの職場はまったく違っている。これを何とかしよう！」とオルグした。その言葉に「そうだ、16 時間は俺のものだ」と目覚める。

● しかし依然として超勤は続く。この生活を何とか変えたいと思い続け、ある日ついに行動に出た、「今日は帰ろう！」と。

● 自分で時間をやりくりするだけでは、自己解決でしかないことは分かっているが、まずは自分の時間を自分の手で取り戻す。とりあえず「今日の仕事は今日中に」という見えない職場の鎖＝仕事優先の意識作りを断ち切る決意をしたのだ。

● そこから本当の解決までは長いたたかいの道のりだが、まずはその第一歩を踏み出した。すると周りの仲間のことも気になりだして…

(自治労新潟県本部音楽運動推進委員会  
+日本音楽協議会新潟県支部) より

## 日音協 Next Stage 開催 お知らせ

### 1.日程

2025 年

8 月 23 日 (土) 13 時～

8 月 24 日 (日) 12 時

### 2.会場

①長野市内 ②新潟県内 ③  
さいたま市内 のいずれかで  
検討しています。

3.参加費 10,000 円 (1 泊朝食付き)、宿泊なしの場合は、4,000 円。

※近々にも発文予定ですので、若い仲間に参加を呼びかけてください。

これまでの「若い会員の交流会」の運営スタイルを継承しつつ、「世代を超えた」交流やコラボレーションの場として開催します。演奏する楽曲のジャンルも参加者の意向を踏まえた形で開催します。

【担当：竹内崇史】

問合せは、090-7184-4820

t-taka.walk@goo.jp

# 長野音楽祭に向けてステージスタッフ講座 基礎と実践と応用をまなぶ

日音協セミナー2025ステージスタッフ講座を開催しました！

5月31日(土)、6月1日(日)、東京都豊島区の施設において、初参加・会員外の方の参加もあり、過去最高の13人の参加を得て盛大に開催されました。

第1部は、講師を東京都支部会員の岩野浩昭さん(北海道在住)にお願いし『スタッフの初めの1歩』と題し、岩野さんが作成されたテキストとプロジェクターによる画像に沿って、聴覚的、視覚的な実験も混じえながら、ステージスタッフとしての基本の基を学びました。

第2部は、講師を茨城県支部会員の鳴澤庸夫さん(ご依頼し『現場で困らないステージ対応』と題して、実技を学びました。参加者から要望が多かった「コード巻きの習得」についても、今回はたっぷり時間をとりました。また、マイク、ミキサー、スピーカーを実際に接続する経験もしました。

第3部は、岩野さん、鳴澤さんを講師に、『音楽祭本番を想

定しての応用編』ということで、昨年の音楽祭に提出された「舞台配置図」を元に、舞台へのマイク出し、機材へのケーブル接続、演奏終了後の撤収を経験しました。講座とはいえ、会場には、本番さながらの緊張が漂っていました。

最後は全員で撤収作業を経験し、車座になって一人ずつ感想を出し合いました。何も知らないまま、言われるがままにスタッフをやっていたので、少しは自分から動けるようになったと思う、色々思い込みもあったことがわかって良かった、参加して改めて、ステージや音響のスタッフの方に音楽祭が支えられていることを痛感した、なんとかコード巻きができるようになった気がする、等々の感想から、延べ2日、実質1日の短い期間ではありましたが、参加された方がそれぞれ何かを持ち帰ることができたと確信します。充実した講演をいただいた、岩野さん、鳴澤さん両講師に、紙面を借りて改めて御礼を申し上げます。

(担当 坂口美日)

## つなげようステージスタッフの「8の字」の輪・和・環

■つか(6/1)

岩野さん、シャイアン、セミナーありがとうございます。おかげさまでシルドの巻き方よく分かりました。今、唯一無二ゆで巻き方講習会やりました。スピードアップです。長野祭典で成果発表します。

■岩野(6/1)

お疲れ様でした。ありがとうございます。音楽祭で本領発揮ですね。

■シャイアン(6/1)

ほんとにお疲れ様でした。長野楽しみにしてます。

■坂口(6/1)

皆さま、お疲れ様でした！講師のお二人も、ありがとうございます。そしてお疲れ様でした！

■久保田(6/6)

皆さん、音響セミナーではお世話になりました。NHKのスタッフの「8の字巻き」を、ゴルフ中継で見ました。6月5日、私の地元茨城県笠間で開催されているゴルフトーナメントを録画して見ていました。選手のうしろからスタッフがコードをまるめていている場面があり、コードの巻き方をスローで確認したら、「8の字巻き」でした。コレに、注目するようになったのは、音響セミナーの成果ですね！他愛も無い話でした。皆さん、良い週末を。



鳴澤です



なるほどなあ〜



8の字になってるかな？



岩野です

■岩野(6/5)

お疲れ様です。岩野工房音響部のセミナー資料のページをリニューアルしました。何か不足やリンク漏れがあったら、チェックをお願いします。なお、このページからトップページへは行けませんが、トップページからはリンクしていないです。

<https://fight.chips.jp/material.html>

# 水道橋 だより

▼6月28日～29日は全国代表者会議。終了後、幹事会。そしていま7月号を編集しています。▼代表者会議終了間際に気がついた。「集合写真を忘れてた」ということで急遽撮影。撮影者(私)とズーム参加者は合成したが、東京の森さんは28日の参加で写っていません。ごめんなさい。(佐藤)

▼代表者会議ではいろいろ個性ある発言や具体的な報告がありました。郵便料金などの値上げで、日音協の財政も苦しいので、音楽運動の印刷物受領の料金負担もお願いしたら、とか。メール受信の呼びかけを、とか。いずれにしても、ネット環境にないとかいろいろな理由の中で現状があるわけですので、今後の課題として検討していきたいと思います。(佐藤)

▼全国アコニストのつどい 2025の案内が届いています。9月26日(金)～28日(日)、静岡県伊東市・さつき会館。8月25日締切ということなので、詳細は次号で紹介します。講師は、窪田聡さんです。多くの方の参加をお願いします。(佐藤)

## 歌の力が物語るもの143

芥菜坂つた行動 6/6 (546回) 報告 長島

【参加者】スーさん、イサさん、鈴木さん、ゆきさん、なべさん、周平さん、森さん、達哉さん、塚本さん、観光で来ているアメリカの男性、長島 計11名

18時半、準備はバッチリ、芥菜坂はまだ明るい。

スーさんは経産省前で『原子力発電NO!』と『明日がない』を歌ってきたという。今日のうた行動は『あたりまえの地球』から始める。続いて『私たちの暮らしは私たちが決める』『明日を殺すな』『そんな世界が一番』『明日がない』『あなたに届け』『フクシマをくり返すな』。風が吹いているのでこんな時は『風車

の唄』だ。

塚本さんが一生懸命歌詞カードを見て歌っている。初めてきたときに彼が歌った『とうさんの歌(私の子どもたちへ)』の楽譜を用意できたのでマイクを持ってもらう。

周平さんの調子が出てきたところで歌うはもちろん『D.O! 廃炉』。塚本さんも替え歌を連呼するところまでつかかり、それをみてスーさんが笑う。毎週歌わないと歌えない。森さんや周平さんは暗記して歌えている。すごい!

沖繩を歌おう、と『月桃』のリクエスト。続いてゆきさんが沖繩平和行進のことを話

してくれた。5月15日、6月23日は沖繩にとって、日本人の私たちにとっても大事な日だ。今、天皇一家が沖繩に行っている。今の政権がやろうとしていることについて何を思うだろうか。今の沖繩の現状に何を思うだろうか。『ジュゴンがすむ海』『辺野古旅情』。山城博治さんが比例で参議院選挙に立候補している。『沖繩今こそ立ち上がろう』。

『大きな橋』と『メッセージ』を歌い、終わりにしようとした時に、外国人の男性が『原発反対!』とエールをくれた。『日本』と書いたTシャツを着ている。どこから来たのか? 名前は? と次々と質問したら、アメリカから観光で来ているという。『トランプは?』と尋ねると、『ノー。言うこと、いつもチェンジ、チェンジ』と不安定な様子を語

った。日本語は大学で学んだそう。アメリカから九州に着き、長崎に行ってきた、空気がよい、食べるものがない、いい話と弾む。原爆で鳥居が半分だけ残っている神社をみてきた、とも。一緒に歌いたくて英語の歌『We Stand Overcome』を提案した。彼は知らないようだったが、スーさんが出してくれた英語の歌詞を見ながら大きな声で歌ってくれた。ノリノリで、なんだかうれしくなる。若いって素晴らしい。今日の芥菜坂はとっても盛り上がったよ。原発事故当時小学校6年生だった子どもが、現在は20代となり、甲状腺がん裁判の原告となったという。原発事故以外甲状腺がんになる理由がない。また、東電旧経営陣相手に株主が「津波対策を怠った」と訴えた訴訟では6日、2審の東京高裁にて、賠償を命じた1審判決を取り消す判決が出された。

## どん行

(192)

飯島貞親

▼米価高騰を巡る農協悪玉論が加熱している。今年の米価高騰は農協がつり上げたからだという指摘があるが、農協につり上げる力はない▼これまで農協が減反に協力して高米価を維持してきたではないか、とも言われる。今回の米価高騰の直前は30年前の米価の半値以下の1万円前後にまで下がっていた。減反の米価維持効果はなくなっている。食糧管理制度の下、政府が米を買い上げていた時代は農協が集荷していた。流通が自由化されていき交渉力に押されて米価が下がっていった▼農協の共同販売は農家がまとまって強力な買い手と対等な交渉力を発揮できるようにする大切な機能で、中間マージンを削減して、農家に高く、消費者に安く届ける効果がある▼農協には政治力があり、与党と農水省と結託しているではないか、と言われるが、自由貿易協定(TPP)に猛反対して、与党から逆襲され、JA全中の権限がそがれてしまった▼「農協改革」の真の狙いは、①農林中央金庫の貯金一〇兆円とJA共済連の共済の55兆円の運用資金を外資に差し出し②日本の農産物流通の要のJA全農をグローバル穀物商社に食われ③独占禁止法の違法適用で農協の共販と共同購入をつぶすことであり、売国以外の何物でもない。